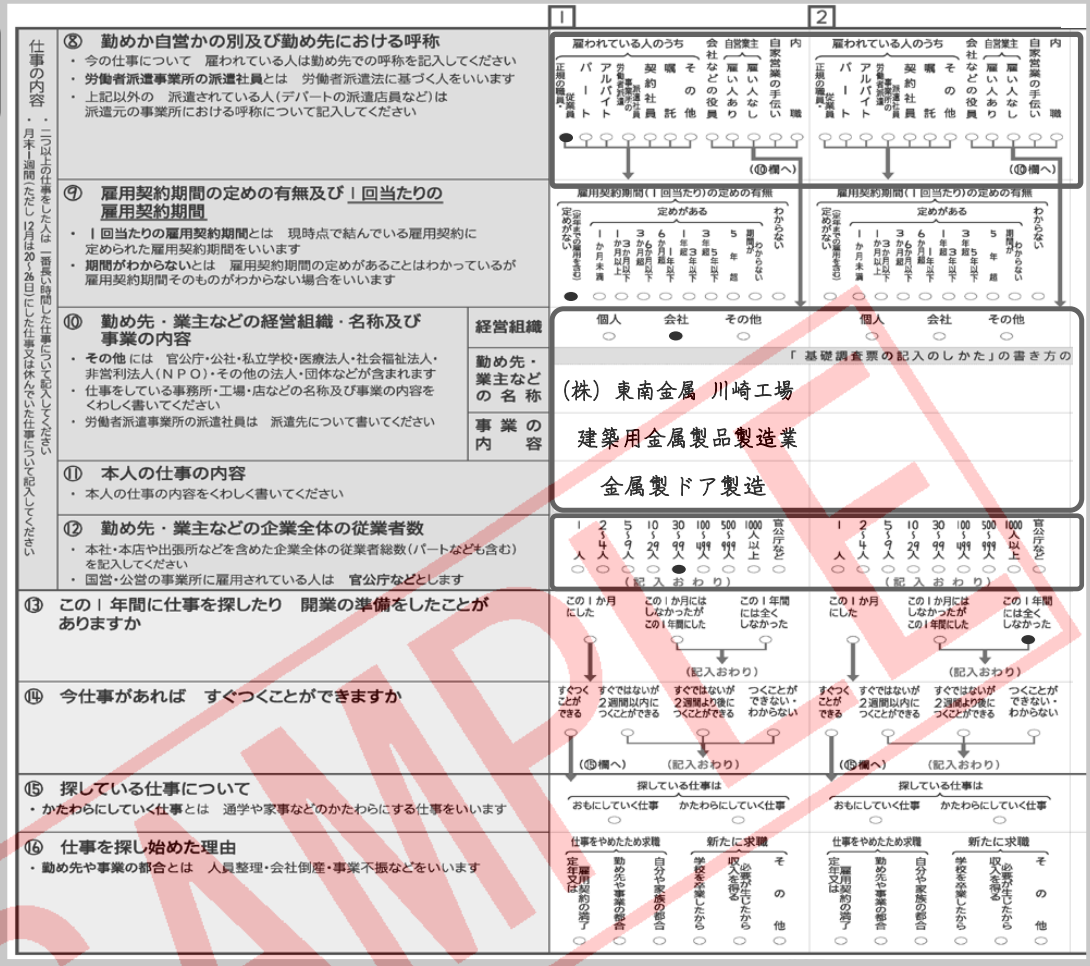
第２面の記入例



⑧　勤めか自営かの別及び勤め先における呼称

● **勤め先における呼称**は，勤め先における呼ばれ方によって記入します。

・「**正規の職員・従業員**」とは，勤め先で一般職員や正社員などと呼ばれている人をいいます。

・「**パート**」，「**アルバイト**」とは，就業の時間や日数に関係なく，勤め先で「パートタイマー」，「アルバイト」又はそれらに近い名称で呼ばれている人をいいます。

・「**労働者派遣事業所の派遣社員**」とは，労働者派遣法などに基づく労働者派遣事業所などに雇用され，そこから派遣される人をいいます。

　労働者派遣事業所などの派遣社員は，他に当てはまるものがあっても，「労働者派遣事業所の派遣社員」とします。

・「**契約社員**」とは，専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用される人をいいます。

・「**嘱託**」とは，労働条件や契約期間に関係なく，勤め先で「嘱託職員」又はそれに近い名称で呼ばれている人をいいます。

● 「**自営業主**」とは，個人経営の商店主・工場主・農業主・開業医・弁護士・著述家・家政婦などをいいます。

　ただし，会社組織になっている商店などの経営者は，自営業主とはしないで，会社などの役員とします。

● 「**自家営業の手伝い**」とは，自営業主の家族で，その自営業主の営む事業を無給で手伝っている人をいいます。給料・賃金をもらっている場合は，家族であっても，「雇われている人」とします。

● 「**内職**」とは，自宅で，材料の支給を受け，人を雇わず，作業所や据付機械など大がかりな固定的設備を持たないで行う仕事をいいます。

⑨　雇用契約期間の定めの有無及び１回当たりの雇用契約期間

● 雇用契約に期間の定めのある人は，１回当たりの雇用契約期間を記入してください。（同じ事業所で，契約期間の更新を繰り返しながら働いている人は，最初に契約したときからの通算ではなく，現在の契約の期間について記入してください。）

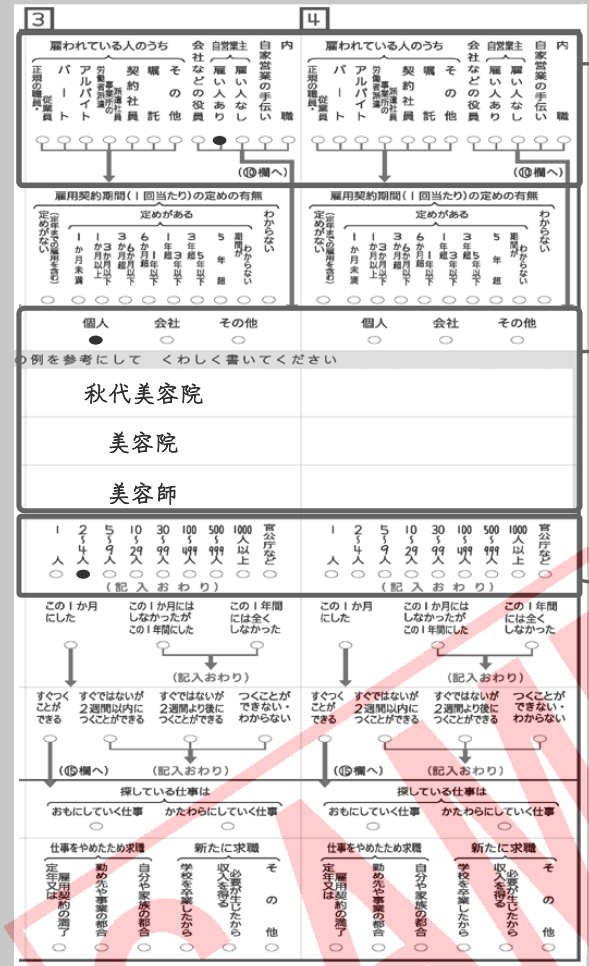
● 定年まで雇用される場合は，「定めがない」としてください。

⑫　勤め先・業主などの企業全体の従業者数

● 個人経営の商店や農家などの場合，従業者数には自営業主も忘れずに含めてください。

● 農家や建設会社など，季節により従業者数が増減する場合には，現在の従業者数を記入してください。

SAMPLE



・二つ以上の仕事をした人は，一番長い時間した仕事について記入してください。
・仕事を休んでいた人は，その休んでいた仕事について記入してください。

・勤め先が本社や本店とは別のところにある工場・支店などの場合は，その工場・支店などの名称まで書いてください。
・労働者派遣事業所などの派遣社員の場合は，派遣先の事業所の名称を書いてください。
・**事業の内容**及び**本人の仕事の内容**については，6ページ及び7ページにある記入例を参考にして書いてください。

・農家や商店など個人経営の場合は，業主自身のほかに家業を手伝っている人も含めます。
・労働者派遣事業所などの派遣社員の場合は，派遣先の従業者数を記入してください。

⑬　この１年間に仕事を探したり　開業の準備をしたことがありますか

● この１年間（調査月を含め，過去１年間）に，仕事につくための活動（求職活動）をしたかどうかについて記入します。
● 求職活動とは，公共職業安定所（ハローワーク）に仕事を申し込んだり，新聞や求人情報誌の求人広告に応募したり，事業所の求人に応募したり，知人に仕事のあっせんを依頼したり，又は自分で事業を始めるための準備などをすることをいいます。

⑭　今仕事があれば　すぐつくことができますか

● 「**すぐつくことができる**」とは，月末１週間（ただし，12月は20～26日）内に仕事につくことができる場合をいいます。
● すでに仕事が決まっている人で，今すぐ仕事をしたいにもかかわらず，勤め先の都合や設備の準備などのためにやむを得ず就業日がくるのを待っている場合は，「**すぐつくことができる**」とします。
● すでに仕事が決まっている人で，学業，家事，旅行，趣味，病気など自分の都合ですぐつける状況にない場合は，「**すぐではないが２週間以内につくことができる**」，「**すぐではないが２週間より後につくことができる**」のいずれかとします。

⑯　仕事を探し始めた理由

● 「**勤め先や事業の都合**」とは，勤め先の会社の倒産・人員整理，勧奨退職，自分の経営している事業の不振などで，仕事をやめた場合をいいます。
● 「**自分や家族の都合**」とは，より良い条件の仕事につくために仕事をやめた場合，結婚や育児のために仕事をやめた場合，家族が病気になりその看病のために仕事をやめた場合などをいいます。
● 「**学校を卒業したから**」には，専修学校や各種学校を卒業した場合も含めます。
● 「**その他**」には，上記のどれにも当てはまらない場合で，たとえば「余暇ができたから」などの理由が含まれます。

SAMPLE